

生産記録(総合的病害虫・雑草管理(IPM)と組み合わせた畦畔除草及び秋耕)

農業者団体の名称	●●地区環境保全会
農業者名 氏名又は法人名	のうりん だうろ 農林 太郎

ほ場番号	作物名(5割低減)	備考	生産記録番号
70~80	水稲		7

1 畦畔除草及び秋耕

(1) 畦畔除草※

作業名	実施時期	備考
畦畔除草	令和●●年5月15日	
畦畔除草	令和●●年6月20日	
畦畔除草	令和●●年7月25日	
	年 月 日	

(2) 秋耕

作業名	実施時期	備考
秋耕	令和●●年10月10日	

※水稲生育期間中は除草剤を使用せず、草刈機等を使用して除草する

2 栽培管理(5割低減の取組)

(1) 作業工程

作業名	実施時期(月日)	備考
播種	4月20日	
定植	5月10日	
収穫終了日	9月15日	

同一作物で複数ほ場において取組があり、栽培管理の内容が同じ場合 →→→  栽培管理が生産記録番号 \_\_\_\_\_ に記載した内容と同じ (該当する場合、 にチェック及び下線に生産記録の番号を記載して、「栽培管理(5割低減の取組)」の記載を省略してください。)

(2) 肥料等

【使用肥料】

資材等の名称	化学肥料窒素成分の割合(%)	使用時期(月日)	使用量(kg/10a)	うち化学肥料窒素成分量(kgN/10a)(A)	慣行の5割低減の水準(kgN/10a)(B)	備考
稲わら敷き込み	0.00%	令和●●年9月25日	全量	0.000		
ホーネンスタ1号	1.3g/箱	4月20日	18箱	0.024		
べんとう肥	8.00%	5月10日	0.3	0.024		
ケイカル	0.00%	4月20日	120	0.000		
エコ・5-5専用元肥	4.80%	5月10日	30	1.440		
エコ・5-5専用追肥	7.50%	7月15日	10	0.750		
株好2号	0.00%	7月25日	10	0.000		
				2.238	3.0	

全ての資材について記載ください。化学窒素の成分量がわかるパンフレット(堆肥等の自給資材は申立て書)等を提出ください(JAの取扱資材であれば、原則不要)

作物ごとに定められている数値を記載ください。

忘れずに提出してあるか確認・チェックしてください。(領収書等のほか、正確に計量されたものであることがわかる伝票や表示票等、散

(3) 使用農薬

【使用農薬】

農薬名(剤型等、商品名)	使用時期(月日)	化学合成農薬成分回数(C)	慣行の5割低減の水準(成分回数)(D)	備考
温湯種子消毒	3月15日	0		
タフブロック	4月10日	0		
フェルテラ縮粒剤	4月20日	1		
ソルネット1キロ粒剤	5月1日	1		
月光ジャンボ	5月14日	3		
バサグラン粒剤	2月18日	1		
スタークル液剤10	7月29日	1		
合計		7	9	

登録内容に合致した使用時期であることがわかるように記載してください。(特に、初期除草剤や後期除草剤の移植後日数や収穫前日数の使用制限)

化学合成農薬成分回数が「0」のものについても記載してください。

一部の資材がほ場で異なる場合、備考にその旨記載ください。

ほ場No.3のみ

作物ごとに定められている回数を記載ください。

(注1) 化学肥料窒素成分を含まない肥料や稲わら敷き込みも含めて記入  
(注2) (A)の合計 ≤ (B)の値 となっているか確認すること。

剤、生物農薬等カウントしない農薬も含めて記入する。  
+ ≤ (D)の値 となっているか確認すること。

3 農業者団体への提出・保管する書類

- 新潟県IPM実践指標[水稲](IPM実践度がA(合計点数が25点以上であるもの)  出荷・販売伝票(10アール未満の取組の場合)

(注) 農業者団体に提出(原本は農業者保管)する書類名の□に、■または✓を入れる。